

# 次世代ワーキンググループ 提言の概要

## ○小学生グループ～「緑の街・旭川」

旭川の良いところは、旭山動物園や科学館などの施設があることや、災害や犯罪が少なく安心して暮らすことができること、また、空気がきれいで自然に恵まれていることなどであり、緑を増やすことでもっと住みやすいまちになり、人口が増えると思う。

## ○中学生グループ～「魅せる旭川」

旭山動物園などの魅力を生かし、観光客の更なる増を目指すことや、誰もが暮らしやすいまちを目指すこと。旭川家具などの「ものづくり」を盛んにするために、まず自分たちが使うなど、できることを1つずつやっていくことが重要。

未来では自分たちが主役であり、旭川にずっといたいと思えるようなまちづくりを目指すべき。

## ○高校生グループ～「美しいまち」

「社会的弱者を生まない環境づくり」が重要であり、そのための環境整備が重要である。教育、行政、福祉、工業、社会基盤整備、観光など、それぞれの分野に積極的に取り組むとともに、人と人とのつながり、支え合いによる住みよい環境づくりを進めることが大切である。まずは自分たちが頑張ることから始め、まちもそこに住む人の心も「美しい街」を目指していきたい。

## ○大学生グループ

○旭川に住む人が、ここに住み続けたいと思える取組(環境・地域・安全・福祉)

○旭川を訪れる人が、ここに住みたいと思える取組(教育・観光・産業)

この2つが実現すれば

- ・10年後の旭川は、様々な想いを持つ人々が行き交う、活気ある街になるだろう。
- ・旭川という街が、大きな目標を持つ人々が訪れ、成長できる街になることを願う。

### <教育分野>

- ・広く学問を学べる大学をつくるべき → 総合大学の設立
- ・旭川の高等教育の活性化
- ・ものづくりに関する基礎学問を学べる場をつくる

### <福祉分野>

「旭川市の福祉」に必要なこと

- ・ボランティア団体への参加
- ・バリアフリーの強化
- ・地域での見守り活動
- ・専門職による介入の必要
- ・スクールソーシャルワーカーを増やす

### <産業分野>

「産本の矢」→ 旭川BBBプロジェクトA

#### 食のブランド化

→モルメン、ホルモンの活用

#### 工業製品のブランド化

→まちにバイオトイレの設置

#### 産業のブランド化

→旭川家具の原材料を地場産に

→新たな観光名所「旭川ツツジ大作戦」

### <安全分野>

- ・防災ボランティアの充実

### <地域分野>

“FURUSATO再生プロジェクト”

- ・地域の子どもの安全を守る
- ・子育て「世代間交流」
- ・子どもに居場所を提供

### <環境分野>

○暮らしやすい環境にするには

- ・除排雪の堆積場所の確保
- ・交差点の一部をラウンドアバウト(ロータリー化)
- ・すべての人に使いやすいJR・バス
- ・災害への意識、危機感を持つ

○緑あふれる環境にするには

- ・壁面緑化、緑を維持するための清掃活動
- ・旭川の自然(川のまち)
- 公園の充実、水と遊ぶ環境(川遊び)